

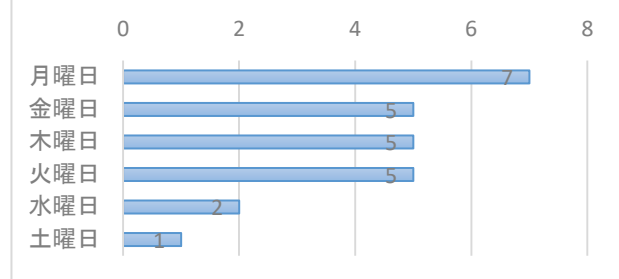
1.報告書集計

けが報告

【いつ?】

①曜日別比較

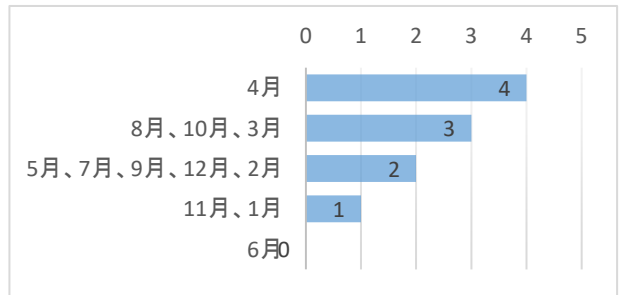
月曜日	7	28%
金曜日	5	20%
木曜日	5	20%
火曜日	5	20%
水曜日	2	8%
土曜日	1	4%
発生件数計	25	



※(参考資料1)

②月別比較

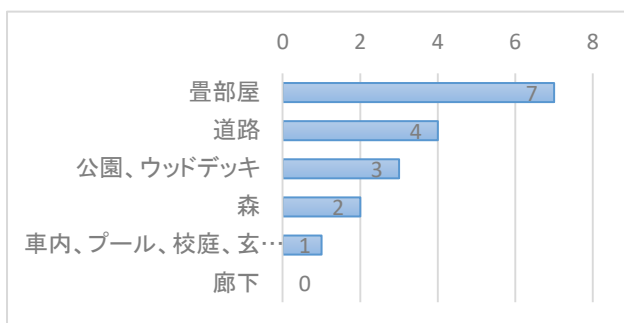
4月	4	16%
8月、10月、3月	3	12%
5月、7月、9月、12月、2月	2	8%
11月、1月	1	4%
6月	0	0%
発生件数計	25	



【どこで?】

③発生場所の分類

畳部屋	7	28%
道路	4	16%
公園、ウッドデッキ	3	12%
森	2	8%
車内、プール、校庭、玄関、トイレの前	1	4%
廊下	0	0%
発生件数計	25	



【どんな状況で?】

●畳部屋で

- ・車の乗降時、
 - ・噛む。・爪を立てる。
- ・ジャンプして頭を天井にぶつける。
- ・ウッドデッキで、「プロのカット」中に噛みつき。

●ウォーク中

- ・バラのトゲが刺さる。
- ・草木を触って指に切り傷。
- ・排水溝の穴につまづく。

●車内

- ・学校の待機時間が長くなり、噛みつき。

●公園で

- ・走って転ぶ。
- ・噴水で足を滑らす。

●プール・水あそび中

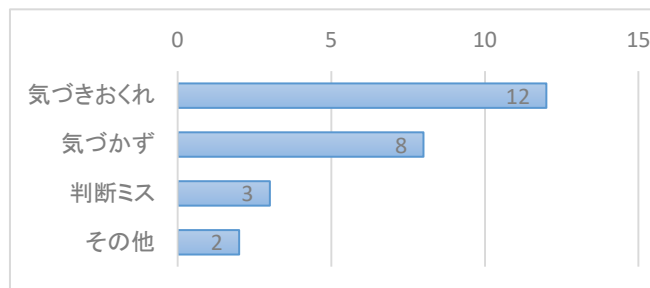
- ・はしゃいでいた子の腕が、ひざに当たり、腫れる。

●トイレの前

- ・トイレから出てきてすぐにつねる。

④職員の原因

気づきおくれ	12	48%
気づかず	8	32%
判断ミス	3	12%
その他	2	8%
発生件数計	25	



ヒヤリハット報告

発生原因の分類

37

気がつかなかった	26	70%
大丈夫だと思った	6	16%
集中力が無かった	3	8%
深く考えなかった	3	8%
見え(聞こえ)ていなかった	3	8%
知らなかった	1	3%
その他	1	3%
あわてていた、体のバランスを崩した、やりにくかった	0	0%

※(参考資料1)

(略)

ハリフォックス・ホームは、月曜日にそうした事故を避けるための5か条を上げている。

- ・大量のカフェイン摂取を避ける。
- ・就寝時間を遅くしない。
- ・早めに起きる。
- ・起きたら多くの水を飲み、健康的な朝食をとる。
- ・脳トレ(数独やクロスワード)をする。

出展:NariNari.com編集部

『英保険会社(ハリフォックス・ホーム・インシュランス)事故率データ』

2.分析

□発生曜日

・月曜日が多い。

* 保険会社の調査でも32%と断トツに多い。(参考資料A)

* 昨年度も、月曜日が一番多い。

□発生場所

・室内が多い。

* 屋外に比べて、見守る範囲が狭く、気持ちが緩みがちになる。

3.再発防止策

□再発防止策

・気づくのが遅れてしまう。

→ * 児童の特性をよく見極める。

* 周囲に危険な物はないか、確認する。

* 職員全体で情報共有し、改めて安全に留意しながら活動していく。

・車で児童が不安定になってしまった場合は、連絡をもらい、到着時に更に気をつける。

・ウォーク中、道路上や児童の手が届く範囲に、危険な箇所がないか、逐次確認する。

・待機時間は、児童との距離感に気をつける。

・室内...子どもたちが降車してからの動きを良く見る。支援しながらも、全体を見る。職員同士の声かけも大事。